

第1回 花火大会検証会議

会議録

【日 時】 令和6年7月25日（木）13:30～15:30

【場 所】 福知山市防災センター 防災研修室

【出席者】 （委員） 7名（別紙参照）

（事務局） 前川副市長

産業政策部 西畑部長

産業観光課 大江課長、田中係長

1 開会

2 開会挨拶

副市長：委員皆様の多くは、花火大会のあり方を考える会から引き続きとなるが、よろしく願いいたします。あり方を考える会では、まず、議論を始めるにあたり、花火大会のあり方を議論すること自体の理解が得られているかどうかというところからスタートをした。先の事故の被害者の方からのご意見、市民アンケートの結果をもとに協議し、花火大会の開催について議論することについては、概ね理解が得られているという判断をいただいた。その上で花火大会が開催されるとした場合、どのような条件のもとで行うべきかという提言を受けた。この提言を受け、福知山市においては、市としての考え方をまとめ、花火大会に関する市の考え方を公表した。花火大会の開催については、事故のご遺族や被害者の方、市民の中にも花火大会の開催については、反対も含め、慎重な意見もあった。そのことから、福知山市が主催、もしくは共催ということについては、時期尚早という判断をした。一方で、地域経済の活性化に繋がる催しとして、花火大会の再開を望む声は大きなものがあつた。このため、公的団体が参画する実行委員会が主催する場合で、提言書に書かれた露店対策や雑踏対策などの安全確保対策がすべて履行をされると認められる場合には、市が後援をしようということにした。その際には、単なる後援名義の使用を認めるということだけでなく、実施計画に対する助言、関係機関との協議にも一緒に入る。そして万が一、事故が起きた場合には、被害者の救済、安全対策にも

関与していくことを決めた。花火大会が開催される場合には、市が検証会議を設置し、大会の運営や事故防止対策の問題や課題について検証を行うことにした。その後、市内で花火大会の実行委員会が組織され、8月11日に花火大会を開催したいということで市に後援の申請があった。その内容を慎重に審査し、承認した。そして検証会議については、申し上げた経過のもと設置し、8月11日に開催される花火大会の検証を依頼するものである。また、花火大会がもたらす経済波及効果についても分析を依頼したいと考えている。委員の皆様には、当日は会場で状況の確認をお願いしたい。安全対策が適切に講じられていたか、改善すべき点はなかったかといった点を確認いただき、検証の結果をまとめていただくようお願いしたい。

3 委員紹介

委嘱状交付（机上配付）

4 会長・副会長の選出

会長 浦中 千佳央

副会長 国松 治一

5 説明事項

（１）「花火大会検証会議」設置

事務局：資料１に基づき「花火大会検証会議」設置説明

（２）福知山HANABI2024開催までの主な経過等

事務局：資料２に基づき「福知山HANABI2024開催までの主な経過等」説明

会長：説明事項について、委員から質問や意見はあるか。

副会長：実行委員会の会議で、市から助言指導された内容を教えていただきたい。

事務局：例をあげると、民地に露店が出店しないよう対策を求めた。また、通行規制の影響を受ける近隣自治会に対し、事前に説明するようお願いしている。保険についても、後援申請の際に、市の考え方に基づく１人１億円を補償するような保険に必ず加入することをお願いしている。実行委員会に対しては、実施計画に基づく安全対策の徹底をしっかりとるよう、実行委員会の会議の場で、繰り返しお願いをしている。警察や消防からも実行委員会に対しそれぞれ指導をされている。

副会長：指導されたことは実施計画書の内容に反映されているのか。

事務局：現時点で指導した点は反映されている。

委員：7月18日に、概要及び注意事項を市内全自治会に対して組回覧で配布し、交通

規制の影響を受ける近隣自治会に対しては案内文を全戸配布したとあるが、これは 同一内容なのか。

事務局：会場周辺の近隣自治会に対しては、通行規制と、民地には露店が入らない、貸し出さないようにしてほしいという注意書きを記載している。

（３）福知山HANABI 2024実施計画

事務局：資料４に基づき「福知山HANABI 2024実施計画」説明

※資料４は安全管理上の観点から委員にのみ配布

会 長：説明事項について、委員から質問や意見はあるか。

委 員：１点目、検証会議について、そもそも実行委員会で検証されるのか。

２点目、先ほど説明があった火災救護本部について、緊急時の救護所を厚生会館内に設ける説明を受けたが、どのような体制で設けるのか。

３点目、現場措置について、群衆パニックが起こった場合は、周辺の安全な河川敷の避難エリアへ誘導すると書いてあるが、避難エリアはどこを示しているのか。

４点目、事前教育の徹底とあるが、打ち合わせ会議及び説明会を複数回開催するということと、警備要領について、教育研修を実施すると書いてあるが、具体的に複数回と書いてあるので、１回ではないというのは理解できるが、わかっていれば、回数や、その研修内容を教えていただきたい。

事務局：１点目の実行委員会でも検証するのかという質問だが、実行委員会によると、来場者や近隣住民などにアンケートをとると伺っている。その意見を総括し、実行委員会独自でも検証を行う予定と聞いている。

２点目の厚生会館内での救護所については、実施計画の中で緊急時とあったが、警察からの指導により、熱中症対策も必要なため、厚生会館の中に常時の救護所を設置するようにと指導があり、厚生会館１階の会議室を救護所として利用できるよう実行委員会が建物を借り、看護師を常駐する形で計画されると聞いている。

３点目の由良川近くの仮設避難エリアはどこにあるのかという質問だが、有料観覧席の座席表のページを見ていただければと思う。基本的に降りていただけるのは、チケットを持った事前の申し込みをされた方のみとなり、AからRまでブロックがあるが、その両サイドにはスペースが空いているので、緊急の時に、降りられる方が避難をしなければならないとなったとき、堤防の上の階段に上がられると危険なので、警察と実行委員会の調整では、河川敷のお客様が入っていない両サイドに人を一旦避難させる予定と聞いている。

４点目の警備会社の件、警察と現場立ち合いを何度か実行委員会が行っており、その場に警備会社の責任者の方が毎回来られている。実行委員会と警察の

方でこういった調整がされているのかという情報をすべて警備会社の責任者の方は把握をされており、その把握された方が今後警備についていただく方に対し、指導を行う計画と聞いている。何回するのかといった具体的なところは事務局としては把握できていない。また後日、実行委員会と警備会社の責任者と警察の 3 者で、当日の警備についての情報共有を行う場を設けると聞いている。

委員：実行委員会が検証している内容がどうだったかということを検証する必要があるので、内容がわかれば、報告していただきたいと思う。どのような教育をされたのかということも検証したいと思う。

委員：確認だが、事業計画自体は、福知山 HANABI 実行委員会が市に提出したという認識でよいか。サポートを市がしたうえで計画書を作られたのか。

事務局：基本的には実行委員会が作成したものであり、それを受けて市、警察、消防ができる様々な助言、指導を行い、それを常時更新し、作成されている。

委員：テーマが「繋がる」にも関わらず、キャンペーンの内容は、離れた所で見てほしいというのは、ちょっとおかしいと思う。繋がるというなかで、観客予定人数 8000 人に対し、出店露店の予定は 15 店舗ということで数を絞られたが、絞られた理由、混み具合というのは予想されていたか。そこに対する対策というのがあまりないと思う。また、御霊公園内に 2,500 人入られると書かれているが、相当並ばれると思う。並ばれたとき、警備が適切かどうかという所を今の段階でイメージ、シミュレーションされたほうがいいと思う。続いて、特にこの時期に気を付けないといけないのは、脱水症状や熱中症だと思う。本部は、河川敷の上にあるテントへ誘導すると思うが、御霊公園前の厚生会館に救護所を設置したとして、倒れられたとき、1 つが込み合っているなか、御霊公園まで連れていくというのは、難しいと思う。例えば、河川敷の上の所に救急車を配置や、涼める場所を設置するなどの対策が必要だと思う。15 店舗以外は出店を一切認めないと書いてあるが、広小路通り沿いの店舗が店前に出て、特別なものを売ることが認められないのか、その警備が相当必要だと思うし、クレームも出ると思うが、そこをどう考えているのか。当日の当番医に依頼協力をするというのは、厚生会館に医師会からの派遣医師、看護師の待機をお願いすると思うが、それどころでないケガをされた場合は救急車で搬送されると思っている。ただ、盆の時期なので、病院に医者がいなければ、すぐに対応ができないことも考えられるので、周りの救急搬送ができる病院に対し、改めて医師を置いていただくということを徹底するほうがよいと思う。

事務局：いくつか質問と要望をいただいたが、15 店舗 2,500 人の中でのシミュレーションは実行委員会に対する意見として承ればよいか。広小路通りで通常営業している店、軒先で営業している店については、実行委員会から商店街の方々に

対し、軒先での営業はできればやめてほしいと言われている。通常営業している店にお客様を呼び込むことは問題ないが、広小路通りでかなりの人が観覧することが予想されるので、そこで営業すれば人が溜まってしまうので、露店については、御霊公園内の 15 店舗のみで今回は実施していきたいということで、地元の商売をされている方をお願いベースにはなるが対応している。現場で対応できないような大きな事故やケガがあったときの対応について、市から市民病院に今回花火大会があると事前に情報提供を行っている。

委員：私自身が思っているだけかもしれないが、人がすごくごった返す中で、露店が 15 店舗しかないというのは相当並ぶことが予想される。例えば、作り置きのものを売るといっても、回らないと思う。本当に 15 店舗が適切であるかということに関しては、再検討したほうが良いかと思う。もちろんこの花火において、この場が設置されたことのほとんどは露店が原因だと思うし、気を使っているのだと思うが、花火に来られた方に対して、ほとんど飲食ができず、規制されて他でも買えないとなり、並ばざるしかないとなればどうするのか。どういう選定で 15 店舗を選んだのか、露店が本当に回せるのかなど、イベント観点からみると気になる点がある。相当露店の列に並ばれるのであれば、人の流れや、割り込みなど予想されるので、相当な計画を立てていただきたいというのを要望として挙げさせてほしい。本部テント付近の熱中症や脱水症の対策というのを加えたほうが良いと思うので、要望としてお伝えいただければと思う。

事務局：救護ブースの件だが、堤防天端でも救護ブースを設けられる。堤防天端の音無瀬橋西詰の所に医師、看護師が控えるブースが設置されることや、緊急時救護ゾーンという形で消防署が調整をされ、何かあった際に対処するような場所も 2 ヶ所設置されている。それに加えて警察からの指導で、熱中症対策として、広小路通りや御霊公園で何かあったときに涼める場所ということで、厚生会館にも常時の救護所を作られるということを実行委員会が計画されていると聞いている。

委員：先ほどの話と似ているが、どのように 15 店舗を選ばれたのかが気になる。ただ実行委員会が作られた事業で、検証会議の中でこういう意見が出ましたということを経理局から実行委員会のほうに伝えてもらうのが一番と思う。また、地元の商店街が軒先に出て営業するというのを耳にしている。今の話では御霊公園内だけに絞るとなっているので、実行委員会に徹底してもらえるように伝えていただければと思う。

委員：運用面の話だが、有料席のチケットは福知山市民または、当日に福知山に帰省された方だけの限定販売とあるが、どういう手法でやるのか。
また、注意報について雷注意報は非常に判断が難しいと思う。二次判断で雨が降れば有料観覧席の所を含めて目に見えてわかるのだが、雷が鳴りだして 1 時

間、2 時間と続けば中止といった可能性もある。このあたりももう少し、実行委員会で明確にしていくべきだと思う。また、警備体制について、4 つの本部があるが、災害本部もあれば、緊急を要する本部もある。どこで誰がコントロールをしているのかがわからない部分がある。一般論として電話をどこにかけてよいのかわからない。運営委員会本部で全てをコントロールするような項目がかなりあると思う。このあたりをもう一度精査するべきだと思う。お願いであるが、8 月 4 日にある団体が河川敷の整備を 800 人～900 人の保険をかけて開催するということであるが、仮に実行委員会が草刈りを同じ日に機械を持ち込んでするとすれば保険が効かない。負傷された場合にお金が出ないので、日にちを少しずらすことを考えてほしいと、ある団体からの申し出があったので配慮していただきたい。

事務局：雷や中止の判断であったりや本部との連絡体制、草刈関係について、情報を共有していきたいと思う。チケットは福知山市民とその日に帰省される方のみに限定して販売するということが、実行委員会から聞いている限りは、現在でもチケットぴあで買える状況になっている。SNS の情報により、多くの方に周知されるが、まず市民の皆さんにだけチケットを販売開始したことを折り込みなどでお知らせをし、市民の皆さんに購入していただく。逐一市民であるのかのチェックまでは物理的にできないが、まずは市民の方に販売開始のお知らせをし、優先的に買っていただけるようにしたいと聞いている。

会 長：露店について、広小路の店の方が軒先で無許可での営業をしている場合、やめてほしいと言って本当にやめていただけるのかどうか。言うことを聞いてもらえない場合、警察や保健所の方が出てこられると思うが、実行委員会できっちり、あやふやな部分がないように詰めていく必要があると思う。

6 協議事項

(1) 検証会議の進め方について

事務局：資料 4 に基づき「検証会議の進め方について」説明

会 長：検証会議の会議スケジュールについて意見や質問などはあるか。会議の回数や、開催時期、各会議の議題、報告までのスケジュールなどについて。

委 員：第 4 回会議の開催予定が 11 月であるが、11 月に設定された理由は何か。実行委員会から報告が届いたうえで、検証会議をするということで 11 月に設定しているのか。

事務局：実行委員会が 10 月頃までに報告書をまとめると聞いている。その後に検証会議を行うということで 11 月にしている。また、この後議論いただく経済波及効果分析についても、分析まで時間がかかるため 11 月に設定しているが、報告書が早く出てくるようであれば、11 月より早い段階で委員の意見を聞き検

証を進めていきたい。開催時期は11月で確定ではなく、状況によって相談したいと思う。

会 長：次に花火大会当日の検証とチェックシートに関して質問や意見などはあるか。

委 員：露店対策の無届けでの出店はなかったかという項目は、検証会議がチェックすることではないと思う。削除してもいいのではないか。

委 員：無届けであったかということより、対応が適切であったかをチェックする方がいいかもしれない。チェックシートについては、委員には様々な専門分野の方がおられるので、共通項目は全員が評価し、あとはそれぞれの専門として気が付いたところを自由記述すればいいのではないか。

委 員：チケットを持たない観客についての項目は、検証会議が現場で常にチェックすることはできないが、実行委員会からの報告を受け記載するのか。

事務局：各入場口に実行委員会のスタッフが立ち、チケットの有無を選別される。この項目を削除するか、後日実行委員会へ聞き取り、事案がなかったかどうかを追記するなど、委員で協議、判断していただければと思う。

会 長：委員は現場を回る必要があるため、この項目はチェックシートから外して、実行委員会からの報告を検証会議で精査するという方向でよろしいか。

委 員：よい。

副会長：当日の委員の動きはどうなるのか。集合した後、どう動き、どうチェックし、どういうことを想定されているのか教えていただきたい。

事務局：事務局としては2つパターンがあると考えている。各委員の担当エリアを決め、チェックするエリアを固定する形式と、会場をある程度満遍なく歩いていただき、なるべく複数の目で同じ箇所をチェックしていただく形式があると考えている。事務局としては、各委員に会場を回っていただき、1人の目で1ヶ所を見るのではなく、複数の委員の目で各箇所を見ていただくことを想定している。

副会長：チェックシートの項目は、最初から最後までその場において、ずっと作業を見ていないと判断できないようなことがほとんどだと思う。内容も、露店対策本部は機能していましたかという質問は、どうやって機能したかどうか判断するのか。そこで作業している人の内容をすべて理解して、ずっと見ていないと機能しているかどうかの判断は難しく、無理がある気がする。どちらかということ、書かれているような観点で検証してくださいということで、委員の回答としては、問題であったとか、気になったとか、そういうことを回答する程度しか現実的にはできないと思う。根本的にこのやり方で、事務局が考えられている動きで、委員が果たしてチェックシートに沿ってチェックできるのかどうかを非常に疑問に思っている。

事務局：会場の回り方や確認の仕方について、事務局から提案をしているが、こういう

方法がいいのではということを議論し、決めていただけるとありがたい。

会 長：この部分を深く討議する。8 月 11 日の当日、検証会議がチェックシートに基づき、実際に実行されたことをどうチェックすべきかについて提案があれば、この場でお願いしたい。

委 員：例えば各委員が事務局職員と一緒に回るという方法もあり、委員だけでペアを組んで回るという方法もある。18 時から検証をしたとしても、昼頃から来るお客さんもいるかもしれないし、18 時頃には身動きが取れない状況があるかもしれない。人が多くなる前にどういった対策を取っていたか、人が多くなってからどういう対応を取ったかを検証する必要がある。人が多くなってから検証しても、単に人が多いで終わってしまう可能性がある。会場の準備段階から検証するという方法もあるのではないか。

委 員：すべて検証しようとすると思う。実行委員会でも検証されるため、検証会議の中で検証する項目を実行委員会に提供し、18 時～21 時以外の時間帯の検証は実行委員会が行い、それを検証会議でも確認するといったようにしなければ無理がある。露店対策は、最初から最後までその場にいないと評価、検証が難しい。委員は全員が同じ時間、同じ場所にはいないと思うので、委員が見たその時の状況で判断すればいいのではないか。そういった形で評価して、実行委員会が検証した内容を補填すればいいかと思う。

委 員：私も同じ意見である。チェックシートの内容は当日これほど多くの項目をチェックできるのかなと思った。他の委員が言われたように、各委員の動きはバラバラになる可能性もあり、それぞれ気になった所をチェックして集約すればいいのではないか。このチェックシートの内容では委員の負担が大きいと思う。

委 員：委員が見なければいけない所を絞ればいいかなと思う。委員が各々好き放題に見に行って、重要な所を見なかったとなれば、全く意味がないと思う。来年も開催したいという思いから、できていない部分もできたと嘘の報告を実行委員会にすることもできる。報告で綺麗なことを書けば書くほど、できていたという評価になる。しかし、本当の結果は違ったとなれば、委員は何をしていたのかという話になるため、重要な所は、しっかり全員でチェックすべきだと思う。それ以外でも、カメラが有効に活用できていたかというのは事後の話で、設置されていたかどうかという所は、委員がチェックする必要はないかと思う。重要事項だけをもう少し絞り、必ず見なければいけない所を重点的にチェックシートで作り上げるのがいい。

会 長：チェックシートは、重要な要素を残したまま、新しいチェックシートを事務局で検討し、改めて各委員に提案して欲しい。

（２）市民公募委員について

事務局：資料５に基づき「市民公募委員について」説明

会 長：市民委員が必要かどうかという点について意見、質問などを伺いたい。検証会議で協議を進めていくうえで、市民の意見は非常に重要であり、検証にあたっても非常に参考となる。市民委員が議論に加わることは、むしろ必要であると考えている。従って、市民委員の公募については、実施するという方向でよい。

委 員：よい。

会 長：市民委員の募集条件や選考方法などについて、質問はあるか。質問が無ければ資料５の内容に基づき、速やかに募集を開始し、応募があった際には選考委員会で審査を行い、第２回会議から市民委員に参画いただく。

委 員：ない。

（３）経済波及効果の分析について

事務局：資料６に基づき「経済波及効果の分析について」説明

会 長：説明のあった経済波及効果の分析について、意見などはあるか。

委 員：来場者数に対してのサンプルが 200 か 300 であり、分析の目的としては、あくまで把握するためだけのもので、そこまで信憑性が高いものではないという感覚で、聞かれた方はこんな感じでしたと報告するためのものという認識でよい。次年度以降につなげて何か明確なものにするという形であれば、サンプルが少ないイメージもある。有料観覧席の 2,350 人や御霊公園、広小路通りにも多くの来場者がいる中で、200 から 300 ほどのアンケートを取れば、十分という感覚であるのか。

事務局：目標サンプル 200 から 300 の算出については、福知山市と協定を結んでいる金融機関に相談したところ、8,000 人の規模に対して経済波及効果を分析するのであれば、200 から 300、正直 150 くらいサンプルがあれば十分ということを確認しており、その数を記載している。ただ、Web 方式での回答にすると、どれだけサンプルが獲得できるかわからないため、できれば対面で当日 100 から 150 ぐらいは確保したうえで、プラスアルファを Web で回答を得るという形で事務局は考えている。

委 員：アンケートを回収することは大変だが、内容は答えやすいと思う。声をかけてアンケートをお願いすれば回答いただけると思う。今回、花火を久しぶりに行うことについては、結果が気になる方も多いと思うので、できるだけ多くのアンケートを取っていただきたい。

会 長：大学で行う社会調査では、やはり 200 から 300 のサンプルがあると良い。ただ、色々なアンケートでも回答は 10～20%程度なので、今回 8,000 人の 10～

20%というところから800～1,600という数字が一番いいが、200から300でも十分可能である。また、対面で行ってもいいが、若い世代はQRコードで行うことが一番いいかと思う。ただ、年配の方には紙を用意するなどの使い分けをして、なるべく多くの方にアンケートを答えてもらう方向のほうが良いかと思う。

会 長：他にアンケート、チェックシート、アンケートの経済波及効果の分析について質問等はあるか。

委 員：ない。

会 長：それでは、検証会議の進め方、チェックシート、市民委員公募委員、経済波及効果の分析などについて、本日いただいた意見以外に追加等があれば、各委員から7月31日までに事務局まで連絡していただければ対応する。また、検証会議の進め方、チェックシート、市民公募委員、経済波及効果の分析などについて、委員の意見を調整したうえで、最終決定については正副会長に一任していただくということでよいか。

委 員：よい。

会 長：これまでの協議を踏まえ、意見などがありましたらお願いしたい。何もなければ協議を終了する。

7 その他

【次回会議】第2回検証会議は8月11日（日）に現地検証を行う。

8 閉会